

公立高校入試情報 香川県

【数学】

令和6年度香川県入試の全体傾向

- 例年どおり，大問数は5問で小問数は23問。
- 大問1は数式の基本問題，大問2は三平方の定理を含む図形の問題，大問3は確率，データの分析，関数，多項式を使った説明，大問4は規則性，方程式の利用と空間図形，大問5は円と相似，三角形の合同の2問の証明問題であった。
- 式による説明や過程，全文記述式の証明問題が2題というように記述量が多いので，時間配分を考えて解き進めていく必要がある。過去問でパターンに慣れておこう。

■ きまりをもとに考える問題の出題

・きまりをもとに考える問題がよく出題されている。問題文をしっかりと読みこなし，そのきまりに従って解く力をつけておく必要がある。

■ 証明問題の出題

・例年どおり，図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため，記述式の証明問題への対策が必要である。

★香川県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式		●		●
		方程式		●	●	●
		比例と反比例			●	
		平面図形				
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用	●	●		●
	2年内容	式の計算	●	●	●	●
		連立方程式	●	●	●	●
		1次関数	●	●		
		図形の調べ方	●	●	●	●
		三角形	●	●	●	●
		平行四辺形		●		●
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図			●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	大問数	5	5	5	5
		小問数	23	23	23	23
	記述問題	図形の証明(説明)	2	2	2	2
		その他の説明・証明など				1
		立式・解法の過程の記述	2	2	2	1
		作図(図形)				
		作図(グラフ)				